南極の陸上生態系 －環境特性の実態－

国立極地研究所・研究教育系（生物圏）教授/グループ長/情報図書室長/アーカイブ室長

工藤 栄

南極は氷に覆われた大陸であり、生物活動の確認できる氷でおおわれていない露岩はわずか陸地面積の 2%にすぎない。その露岩でさえ、「寒く・暴風吹きすさぶ環境」であることは、一般に想定できるのだろうが、その実際・実態・変動などはそれほどしられてはいない。

本講演では南極での観測データに基づいて、そこで活動する「小さな生物」目線で、環境の動態に関する解説を試みる。生き物がどんな環境を使って生命をはぐくむことができるのか、考える機会としたい。